

第2号様式 (第8条関係)

禁止行為の解除承認申請書

年 月 日

東京消防庁
四谷 消防署長 殿

申請者
住 所
電 話 ()
氏 名

火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

記

防 火 対 象 物	所 在 地	新宿区霞ヶ丘町4番1号	
	名 称	日本青年館ホール	
解除の承認 を受けよう とする場所 (指定場所 の用途)	<input type="checkbox"/> 劇場等	<input type="checkbox"/> 地下街	
	<input type="checkbox"/> 飲食店等	<input type="checkbox"/> 重要文化財等	
解除の承認 を受けよう とする行為	<input type="checkbox"/> 百貨店等	<input type="checkbox"/> 車両の停車場及び船舶・航空機の 発着場	
	<input type="checkbox"/> 屋内展示場	<input type="checkbox"/> ホテル等	
解除の承認 を受けよう とする行為	期 間	年 月 日から 年 月 日まで	
	種 類	内 容	
	<input type="checkbox"/> 喫 煙		
	<input type="checkbox"/> 裸火使用		
	<input type="checkbox"/> 危険物品持込み		
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄	

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
2 内容欄には、裸火使用については機器名、熱源、最大消費熱量、火炎の大きさ等を、危険物品持込みについては品名、成分、数量等をそれぞれ記入すること。
3 解除の承認を受けようとする場所の平面図のほか、必要な図書を添付すること。
4 ※欄には、記入しないこと。

申 請 内 容 明 細 書

申 請 場 所	1 階		
責 任 者		防火管理者	椎名 雅則
解除承認を受けようとする行為	概 要		
	〔使用場所〕 使用場面 理 由		
	内 容		
	〔 名 称 〕 使用量 成 分 性 状 取扱要領		
	行 為 者		
	補 足 事 項 等		
火 災 予 防 上 講 じ た 措 置 〔欄は該当するものをレ印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。〕	<input type="checkbox"/> 消火器の設置 〔__本 位置：_____〕 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓の準備 〔_2_口 位置：舞台 上手下手各1 〕 <input type="checkbox"/> 消火担当者の配置 〔__名 位置：_____〕 <input type="checkbox"/> 消防計画に定める自主検査 〔最新実施年月日：_____〕 <input type="checkbox"/> 会場管理計画の作成 <input type="checkbox"/> 訓練の実施 〔最新実施年月日：_____〕 <input type="checkbox"/> 始業時、終業時の点検等 〔担当者：_____〕 <input type="checkbox"/> 承認行為のチェック 〔実施者：_____ 時期：__仕込終了時__〕 <input type="checkbox"/> 防災性能あり 〔 <input type="checkbox"/> 幕 <input type="checkbox"/> 敷物 <input type="checkbox"/> 大道具 <input type="checkbox"/> その他（_____）〕 <input type="checkbox"/> その他 〔_____〕		

備考1 申請場所ごとに作成すること。

2 禁止行為を行う位置、消火器の設置位置等を明記した使用場所の図面を添付すること。
劇場等及びスタジオの場合は、禁止行為の位置、消火器等の設置位置、消火担当者の位置周囲の状況（可燃物からの距離等）、床面の状況（材質、養生の方法等）、舞台上の人の配置等を明記すること。

3 必要に応じて性能等に関する資料を添付すること。

会場管理計画

ホールにおいて禁止行為解除承認を受けて催物を行う場合は、下記事項を守り火災予防ならびに人命安全につとめる。

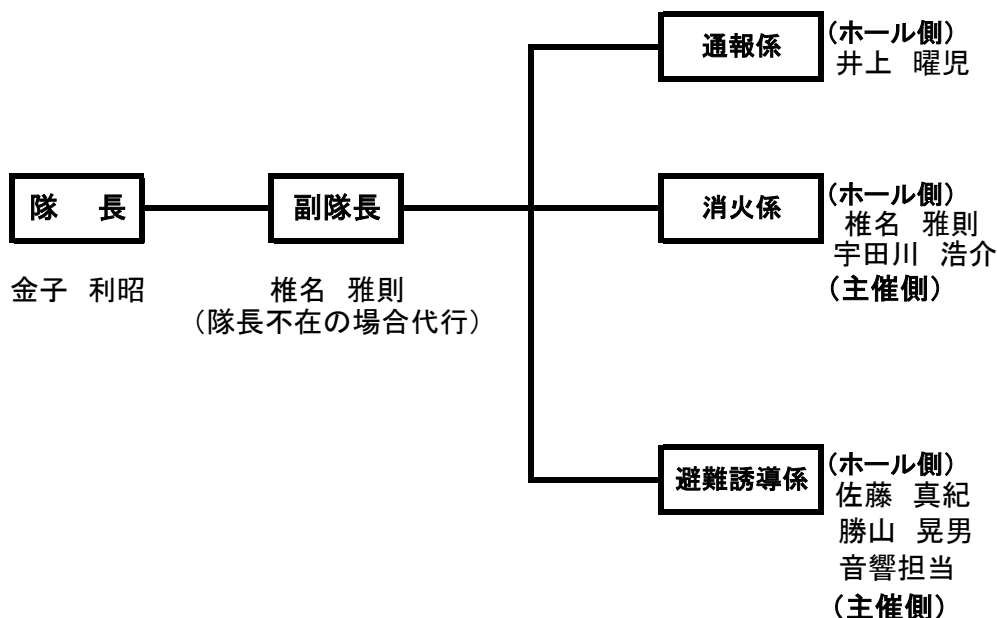
記

第1.防火管理対策

1. 設置されている下記消防用設備等を適正に管理する。
 - (1) 消火器
 - (2) 屋内消火栓
 - (3) スプリンクラー設備
 - (4) 自動火災報知設備
 - (5) 避難口誘導灯、通路誘導灯
 - (6) 排煙設備
 - (7) 防火扉
2. 主催者に対し、下記事項を徹底させる。
 - (1) 危険物品あるいは、裸火の持込量ならびに取り扱い方法は、承認どおりとする。
 - (2) 持込幕類及び大道具は、防災処理済のものを使用する。
 - (3) 危険物品付近に消火器を設置させる。
3. 承認条件と異なる取り扱いをした場合は、直ちに主催者にその行為を中止させる。
4. その他
 - (1) 通路、出入口、避難口付近には避難上障害となる物品を置かない。
 - (2) 収容人員は、定員以下とする。(定員1249名)

第2. 自衛消防対策

公演中は、次の様に主催者を含めた自衛消防組織を編成する。



販売申請書

年 月 日

日本青年館ホール殿

社名
 申込者: 印
 TEL :

※下記の販売者のみが販売を行えます。(太枠のみ記入)

社名	ご担当者	ご連絡先	住所	販売日	卓数	品目	

- 1・販売手数料・・・1卓10,000(税別) 販売設営前に、現金を事務所にお支払ください。
 長期連続使用の場合はご相談ください。
- 2・連続販売される方は、日数×卓数を頂戴いたします。
- 3・販売で出たゴミは段ボール等も含め、全てお持ち帰りください。
- 4・使用した備品は現状復帰してください。

<ホール使用欄>

支配人	受付担当印